

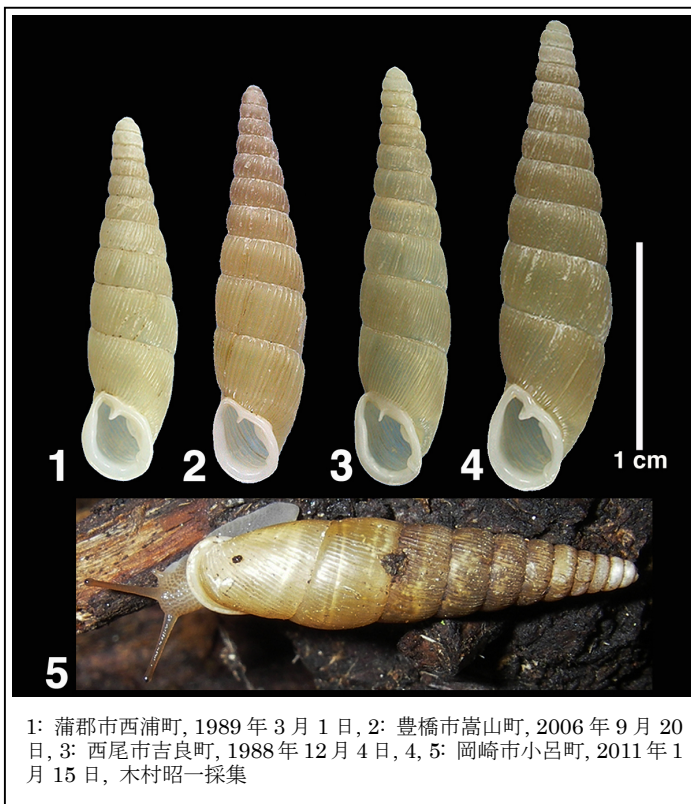
ミカワギセル *Stereophaedusa hickonis mikawa* (Pilsbry)

【選定理由】

本種は三重県中部、愛知県東部、静岡県西部に分布する中型のキセルガイで、西尾市三ヶ根山を模式産地とする。原名亜種のコンボウギセルとは殻が小型であること、強い縦肋が発達することなどで区別される。山地から平野部まで点々と分布するが、寺社林や谷沿いの自然林内の落葉、朽木や礫の下に生息していることが多い。産地による貝殻の変異が大きく、愛知県内でも数タイプに分けることができる。模式産地の三ヶ根山では自然林の伐採によって、嵩山の石灰岩地では乾燥化によって個体数が著しく減少している。本種の生息地は現在も少なくはないが、上述のような生息状況の悪化は多くの生息地で認められる。

【形態】

殻高 15～23 mm 程度で産地によって変異が大きい。殻は細長く、螺層数 7～9 層。成長脈が強い縦肋に発達する。主襲と 3～4 の腔襲がある。



1: 蒲郡市西浦町, 1989年3月1日, 2: 豊橋市嵩山町, 2006年9月20日, 3: 西尾市吉良町, 1988年12月4日, 4, 5: 岡崎市小呂町, 2011年1月15日, 木村昭一採集

【分布の概要】

県内では渥美半島、西尾市より東の三河部に分布し、北限は面ノ木峠周辺である。県外では三重県中部、静岡県西部に分布する。

【生息地の環境／生態的特性】

【選定理由】の項参照。

【現在の生息状況／減少の要因】

【選定理由】の項参照。

【保全上の留意点】

自然林の伐採等生息環境の改変を防止することが重要である。

【関連文献】

- 野々部良一・高桑 弘・原田一夫, 1984. 陸産貝類. 愛知の動物, p.30. 愛知県郷土資料刊行会.  
湊 宏, 1994. 日本産キセルガイ科貝類の分類と分布に関する研究, pp.187-188. 日本貝類学会.  
東 正雄, 1982. 原色日本陸産貝類図鑑, pp.89-90. 保育社.

(2009年版(原田)を一部修正)